

氏名	伊賀徳周
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 5088 号
学位授与の日付	平成 27 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)

学位論文題目	Detection of airway ischemic damage after lung transplantation by using autofluorescence imaging bronchoscopy (肺移植術後における蛍光気管支内視鏡を用いた気道虚血障害の検出)
--------	---

論文審査委員	教授 佐野俊二 教授 森松博史 教授 岡田裕之
--------	-------------------------

学位論文内容の要旨

肺移植術後において気道虚血は患者の予後に影響を与える合併症を引き起こす重篤な合併症である。気道虚血を早期に診断し適切な医療介入を行うことにより様々な気管支吻合部合併症を減少させることが期待できる。蛍光気管支内視鏡は気管支組織内に存在する蛍光物質から発する自家蛍光を検出する特性を有した気管支内視鏡である。気管支壁の厚みの違いによる自家蛍光の強弱を疑似カラー表示し、病変部位と正常組織にコントラストをつけて描出できる。本研究では気道虚血病変に対する蛍光気管支内視鏡の有用性について検討した。ブタ気管を用いて気道虚血モデルを作成し、蛍光気管支内視鏡を用いて評価するとともに組織学的検討を行った。虚血障害部位から輝度の高い緑色蛍光が観察され、その原因として粘膜下層内存在する弾性線維層からの自家蛍光を検出していることが分かった。本研究から蛍光気管支内視鏡は気道虚血障害の検出に有用であることが示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、気道虚血病変に対する蛍光気管支内視鏡の有用性について検討した論文である。ブタ気管を用いて気道虚血モデルを作成し、蛍光気管支内視鏡を用いて評価するとともに、組織学的検討を行うと、気道虚血障害部位からは輝度の高い緑色蛍光が観察され、その原因として粘膜下層内に存在する弾性線維層からの自家蛍光を検出している事が分かった。本研究は蛍光気管支内視鏡が気道虚血障害の検出に有用であることを示唆するという重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。